



スウェーデンに伝わる妖精「トムテ」



砥川用水路の水で潤う青田。左は船野山、右は飯田山



惣領方面から延びる県道235号沿いに「富田茂七顕彰碑」



上/「お花は心をなごませます」と話す富田貴子さん
左/富田さんが作った美しいフラワーアレンジメント

たこの一带に、なんとか水を引きたいと、茂七は私財をなげうって用水路の建設に挑みました。工事は何度も失敗するも、茂七は諦めることなく用水路を完成させました。

毎年、3月19日に富田茂七の功績を称える「井手祭」が開催されています。祭りでは以前は「子ども相撲」も奉納されていました。大正14(1925)年に建てられた「富田茂七顕彰碑」の前で神事が行われ、先人の努力に感謝の思いを捧げます。

「暮らしの中にお花を」 富田さんの花教室

下鶴地区で「お花教室トムテ」という、かわいらしい看板を見つけました。「トムテはスウェーデンで愛されている、お家を守ってくれる妖精です」と主宰者の富田貴子(とみた たかこ)さんが教えてくれました。

富田さんは自宅の2階で、フラワーアレンジメントの教室を開いています。「花のある暮らしは、心を豊かにします。花材はなるべく町内のお店で、町の人たちが育てているお花を使うようにしています」と富田さん。

レッスンの曜日や時間は、希望に添ってくれるそうです。穏やかで優しい人柄の富田さんとの花時間は、きっと心癒やされることでしょう。



坂道の途中にかけられた愛らしい看板
●お花教室トムテ
電話/ 090-7155-4500(富田)

散歩の終わりに

昔話の「やまのせいくらべ」の物語の最後にはこんな話も伝えられています。背比べに負けた飯田山に流れた水は、やがて田畑を潤し豊作をもたらしたというものです。

富田茂七が私財をなげうって建設した砥川用水路など、青々と広がる水田を眺めながら、先人たちの願いや努力が叶えた風景なのだ、心に染みわたわがまち散歩でした。

今日の出会いに、感謝。

